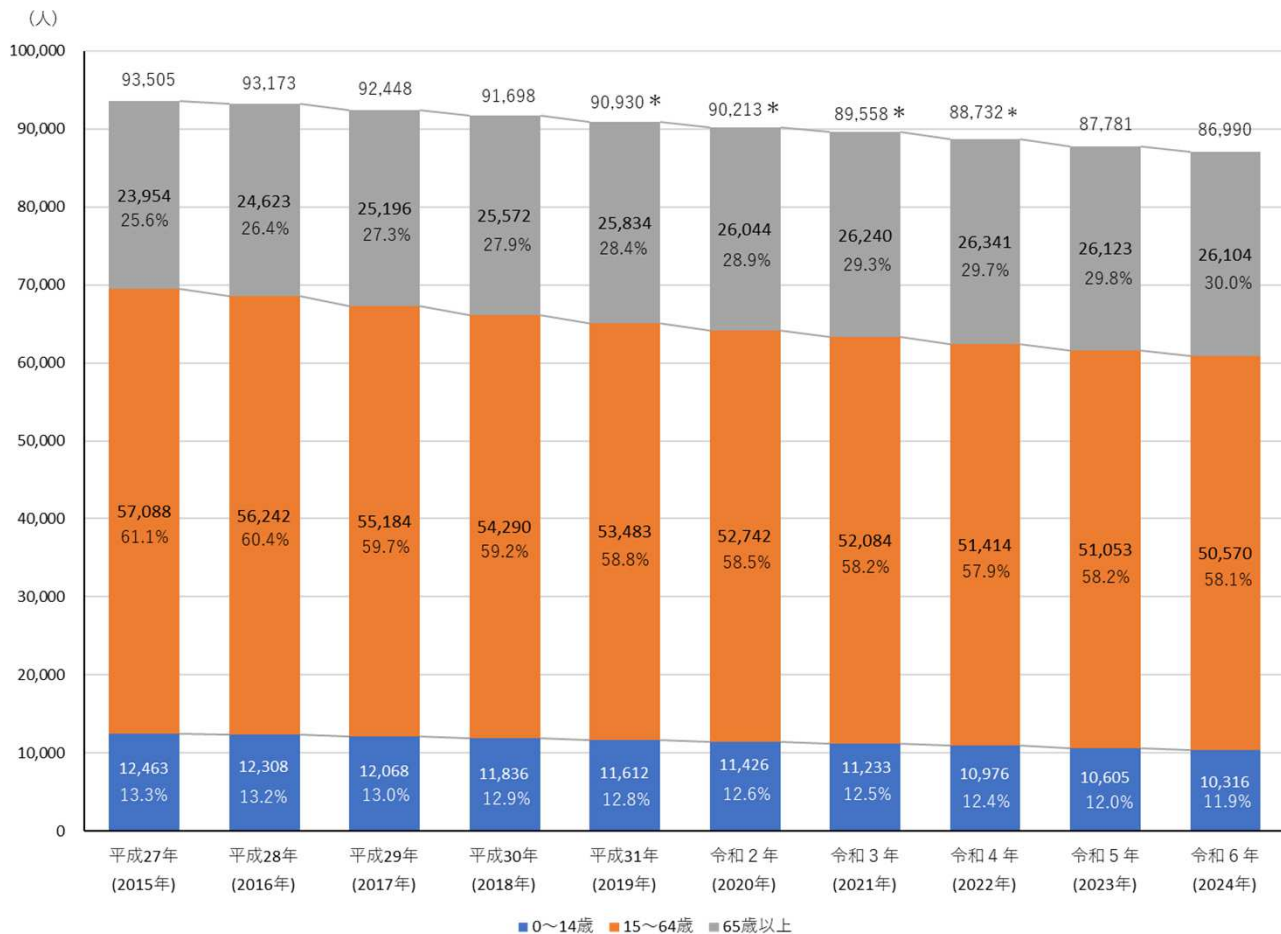


第2章 市民の健康をめぐる現状

1. 人口動態

(1) 人口の推移



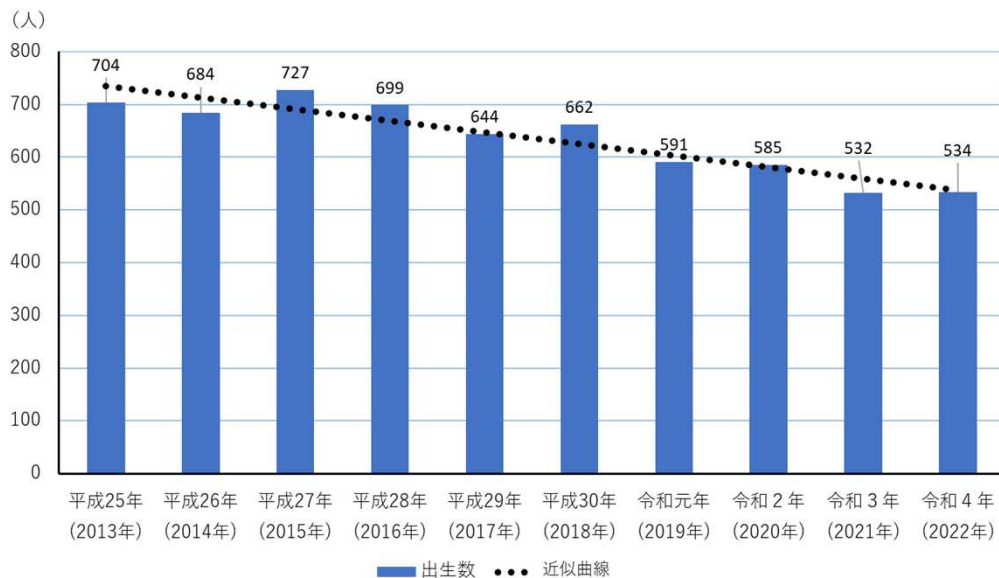
* の総人口数は年齢「不詳」を含むため、グラフ中の年齢別の人口の合計とは異なります。

資料 高砂市（住民基本台帳人口・外国人登録人口）各年3月末現在

高砂市の人口は減少傾向にあり、特に15～64歳の生産年齢人口と14歳以下の年少人口の減少が顕著である一方で、65歳以上の老年人口は増加しており、少子高齢化の影響が強く現れています。

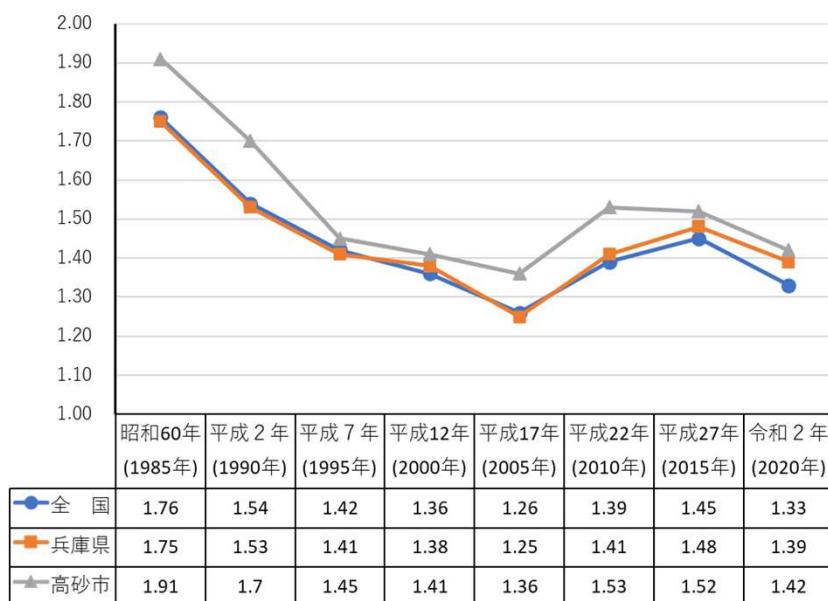
(2) 出生について

① 出生数の推移



平成25(2013)年から令和4(2022)年にかけて、出生数は全体的に減少しています。特に平成25(2013)年の704人から令和4(2022)年の534人と、約24%の減少が見られます。

② 合計特殊出生率の推移



昭和60(1985)年から令和2(2020)年にかけて、高砂市の合計特殊出生率は1.91から1.42に減少し、平成22(2010)年に1.53まで一時的に回復したものの、その後再び下降傾向にあります。

* 合計特殊出生率 (TFR) とは

15歳から49歳までの女性が生涯に産むこどもの平均数を示す指標です。この数値は、各年齢層の女性が実際に産んだこどもの数を基に計算され、人口の置換には2.07程度が必要とされています。TFRがこれを下回ると、人口減少が進行することになります。

2. 標準化死亡比

高砂市は多くの項目で男女ともに兵庫県全体よりも高い数値が見られ、特に心疾患である急性心筋梗塞、心不全の生活習慣病で高い一方、悪性新生物(がん)全般では、県全体と近い傾向です。

	高砂市		兵庫県	
	男性	女性	男性	女性
心疾患	120.9	130.6	97.4	101.3
急性心筋梗塞	137.3	153.6	115.9	115.6
心不全	175.7	170.0	105.1	110.3
脳血管疾患	100.5	100.8	96.8	92.5
脳出血	74.8	90.4	92.1	90.8
脳梗塞	113.8	102.9	93.2	89.2
悪性新生物（がん）	105.1	100.1	102.3	100.5
胃	95.3	134.7	105.4	106.3
大腸	94.7	109.6	92.7	97.1
肝及び肝内胆管	117.6	111.2	116.2	116.6
気管、気管支及び肺	107.5	108.9	105.2	101.1
肺炎	90.6	98.9	69.2	67.4
腎不全	135.3	96.3	104.0	108.6
肝疾患	122.1	120.1	108.0	106.1
自殺	101.4	117.5	102.2	101.3

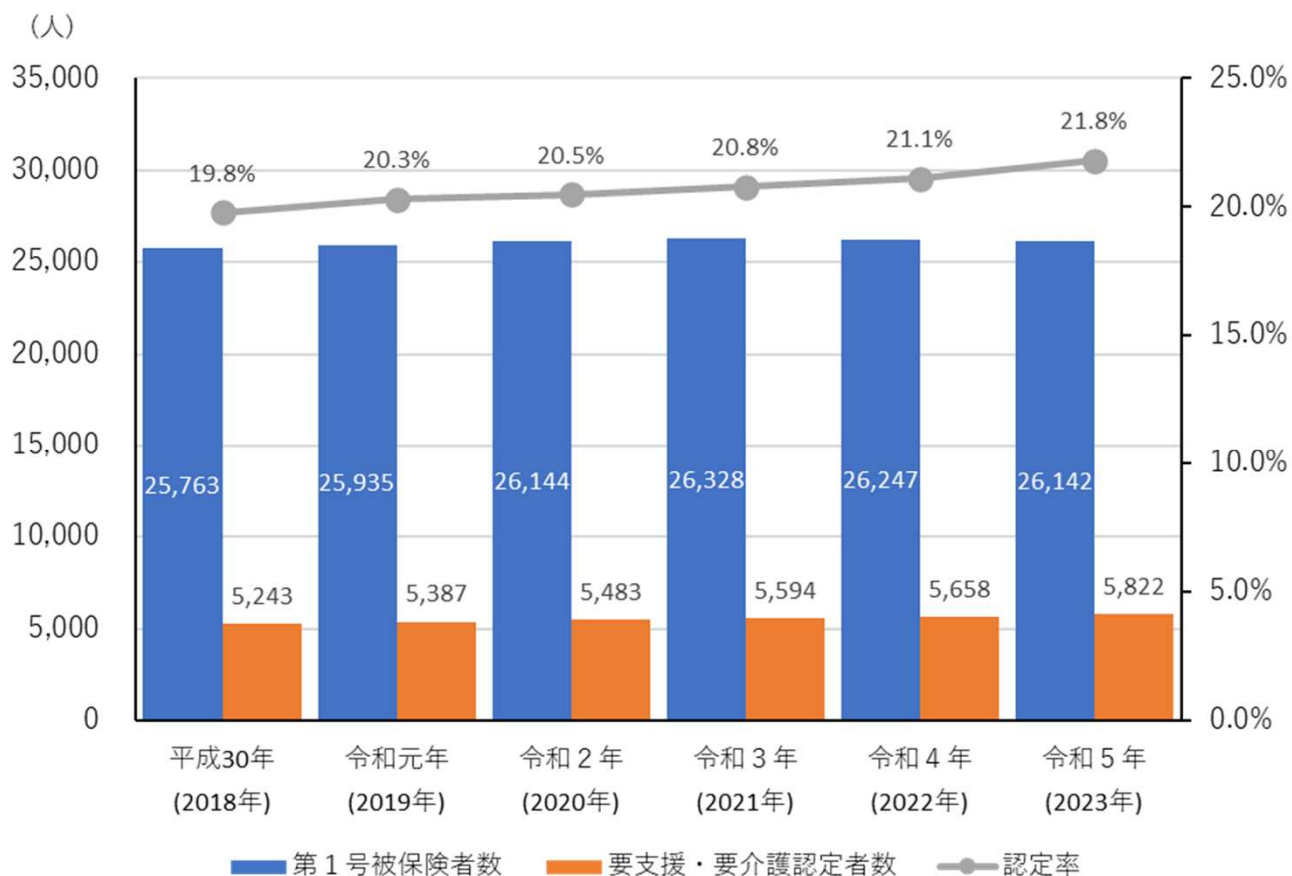
※全国を100.0とした場合としています。

資料 平成28年～令和2年兵庫県における死亡統計指標
(兵庫県健康科学研究所)

* 標準化死亡比とは

各地域の年齢階級別人口と全国の年齢階級別死亡率により算出された各地域の期待死亡数に対するその地域の実際の死亡数の比をいい、年齢構成の違いの影響を除いて死亡率を全国と比較したもの。

3. 要支援・要介護認定者数の推移



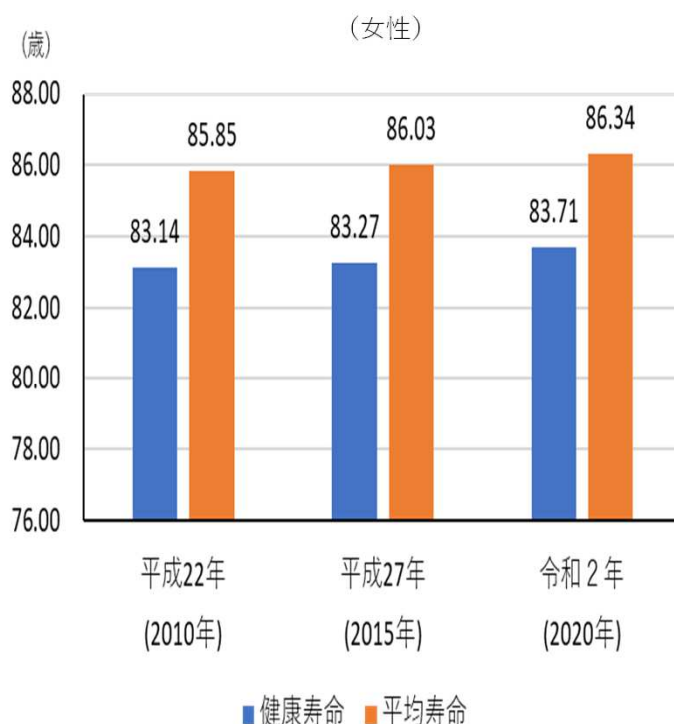
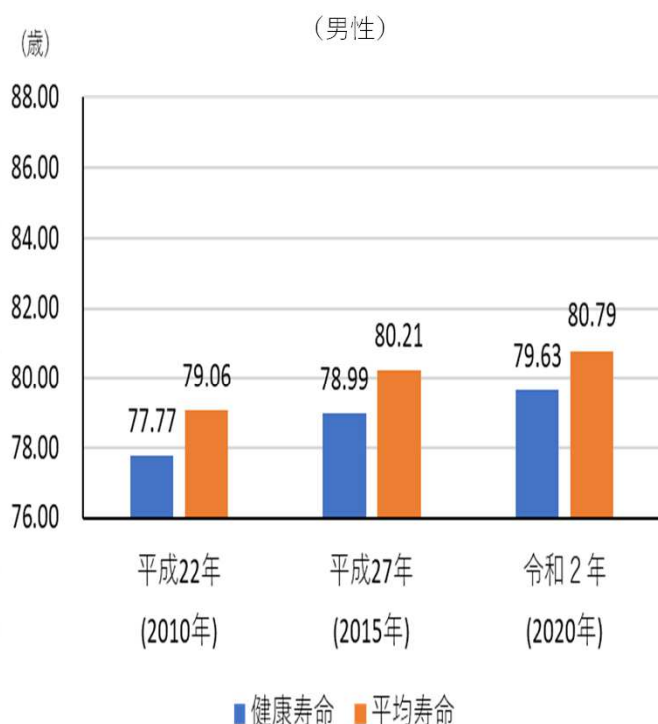
資料：介護保険事業状況報告（各年9月末現在）

* 本指標の「認定率」は第1号被保険者の認定者数を第1号被保険者数で除した数

要支援・要介護認定者数は、毎年増加しており、平成30(2018)年の5,243人から令和5(2023)年には5,822人に増加しています。

認定率も年々上昇しており、平成30(2018)年の19.8%から令和5(2023)年には21.8%に達しています。

4. 平均寿命と健康寿命



資料：兵庫県 健康寿命算定結果(県・圏域・市町)2010-2020

男性の健康寿命は平成22(2010)年から令和2(2020)年にかけて、77.77歳から79.63歳に延伸しています。これは約1.86年の延びです。平均寿命は平成22(2010)年の79.06歳から令和2(2020)年の80.79歳まで延びており、約1.73年の延伸が見られます。

女性の健康寿命は平成22(2010)年から令和2(2020)年にかけて、83.14歳から83.71歳にわずかに延伸しています。約0.57年の延びです。平均寿命は平成22(2010)年の85.85歳から令和2(2020)年の86.34歳まで延びており、約0.49年の延伸が見られます。

男女ともに健康寿命と平均寿命は全体的に延伸傾向にありますが、特に男性の延びが顕著です。